

蕪崎工高新聞

6月号

発行所
蕪崎工業高校
新聞委員会

関東レスリング 6階級で入賞



関東大会での入賞を喜ぶ3年生レスリング部員

令和5年度第69回関東高校レスリング大会が6月2日から4日まで熊谷スポーツ文化公園の国くまがやドーム(埼玉)で行われ、本校レスリング部がグレコローマンスタイル3階級で優勝し、高橋柊生さん(3年)が優秀選手賞を受賞した。

関東高校レスリング大会は、フリースタイルとグレコローマンスタイルで行われ、フリースタイルで学校対抗戦が競われた。フリースタイルでは、55kg級の横山桔平さん(2年)が6位入賞、71kg級の北井涼都さん(3年)が3位入賞し、学校対抗戦は12位であった。グレコローマンスタイルでは、55kg級の高橋柊生さん(3年)が優勝、60kg級の中村真翔さんが

選手のコメント

○優秀選手賞の高橋柊生さん
「昨年、優勝している大会なので、プレッシャーは大きかったが、優勝できて安心している。これから行われる全国大会、U17世界選手権に向けて



優秀選手賞の高橋さん
「昨年に引き続き2連覇することができて良かった。しかし、何回か危ない場面があり改善すべきポイントが見つかったので、全国大会までに修正してきたい」

て自信がな試験になった」
フリー71kg級・3位の北井涼都さん
「優勝を宣言したのにも関わらず、勝つことができなかった。次回は練習を重ね、インターハイでリベンジをしたい。応援、よろしくお願ひします」
○グレコ60kg級・優勝の鈴木飛来さん

中村真翔さん
「昨年は2位で悔しい思いをしたので、今年は優勝できて、ほっとしている。しかし、多くの課題がみつかった試合だったので、それを克服し全国では圧倒的な力で勝ちたい」
○グレコ65kg級・優勝の鈴木飛来さん
「昨年に引き続き2連覇することができて良かった。しかし、何回か危ない場面があり改善すべきポイントが見つかったので、全国大会までに修正してきたい」

夏の高校野球 7月8日開幕

初戦は甲府城西高校

第105回全国高校野球選手権甲斐大会が7月8日に開幕する。今年は34校33チームが熱戦をくり広げる。本校野球部は7月8日の開幕戦、山梨県立甲府城西高校と対戦する。

組み合わせ抽選会が6月22日、甲府市総合市民会館で行われ、原誠一監督、長谷部竜巳部長、主将の岡山瑞希さん(3年)が出席し、本校は開幕戦で甲府城西高校と対戦することになった。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、従来どおりの開催となる。そのため、1回戦から観客人数の上限がなく、一



毎日、練習に励む野球部員たち

関東陸上 男子ハンマー投げに出場

45m26、自己ベストを更新



力強くハンマーを投げる新井さん

令和5年度関東高校陸上競技大会が6月16日から19日まで、小瀬スポーツ公園JITリサイクリンクススタジアムで行われ、男子ハンマー投げに陸上競技部の新井翔葉さん(3年)が出場した。結果は自己ベストの45

m26、南関東16位で、昨年の20位から順位を上げた。新井さんは「今回の関東大会では24人中16位に入ることができた。また、昨年よりも10分以上、距離を更新することができて、うれしかった。次の大会まであと1カ月あるのでしっかりと練習して、また自己ベストを更新したい」と抱負を語った。

新井さんは7月に学年別大会、国体選考会、8月に関東陸上競技選手権大会に出場する。(飯嶋)

主将のコメント



岡山瑞希主将(3年)

「僕たち野球部は、『声出し、全力疾走』を常に心がけて練習をしています。今年は甲府城西高校と開幕戦で戦うことになりました。これまでの練習の成果を結果で残せるよう、頑張ってきたと思います。3年生にとって最後の大会になります。3年間の練習の成果を出せるよう、全力で野球部のプレーをしてきたいと思えます。応援、よろしくお願ひします」

魅力ある学校について意見交換 蕪工活性化合同会議行われる

第1回蕪工活性化合同会議が6月15日、本校視聴覚室で行われた。会議には、生徒会役員5人、PTA役員5人、飯嶋慶一郎校長先生をはじめとする教員5人が参加し、魅力ある学校づくりについて、意見交換を行った。会議では、強みを生かす取り組みとして「あい

さつ運動の継続」といった意見、弱みを克服する取り組みとして「校内設備の不備」や「蕪工寮の外部への公開方法について」などの意見が出された。PTAの飯嶋明子会長は「この会議は他校にない取り組みで、蕪崎工業の特色だと思える。会議に参加するにあたり、生徒会役員が話し合いをし、事前に意見をまとめてきたことがすごいと思う」と会議の感想を語った。また、PTAとして、どのような活動を考えているかについて、「親と子どもに関われる最後の時間。子どもたちが悔いのない時間を送れるように、失敗しても良かったと思えるような時間になるよう、支えていきたい」と語った。(杉原)

ニラテク

思っていることがある。それは、6月は進路行事が多いことだ。1年生は企業・上級学校見学会、2年生は作文ガイダンス・進路ガイダンス、3年生は進路別ガイダンスが行われ、全学年で進路について考える授業を実施している。▼進路行事の意味は自分の進路について考え、その進路の実現に必要なことは何かを学ぶために行われる▼7月1日、求人受付が開始され、いよいよ3年生は就職活動が始まる。たくさんの方から一つの会社に絞るのは、とても難しいことではないのか。2年生の自分は思う▼就職、進学、どのようにして、進路を決めていくのが良いのか。漠然と思うことは興味のあることが進路につながる良いのでは。例えば、自分なら自動車に興味があるので自動車関係の進路に進めば良い。もっと細かく言うと、自動車整備が好きなので、整備関係に進めば良い▼ガイダンスで学んだことは、その進路を実現するために、少しでも進みたい進路の勉強をしておいた方が良い▼学校では、システム工学科に所属し、部活動はエコーカー部、自動車に関わる勉強をしている。学校だけでなく、家でも勉強するという、日々の頑張りと努力が進路実現につながると思う。(清田)

100人アンケート マイナンバーカードを 持っていますか？

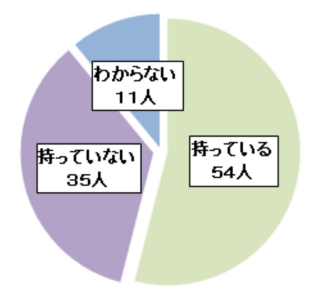
マイナンバーカードを巡るトラブルが新聞やニュースで報道されている。今回、新聞委員会ではマイナンバーカードについて、生徒100人にアンケートを実施。取得状況やマイナンバーカードについて、どのように考えているのか、調査した。

(遠藤陸・小畑)

「持っている」が約5割

「マイナンバーカードを持っているか」については、「持っている」が54人、「持っていない」が35人、「わからない」が11人と半数の人が持っていることが分かった。

Q マイナンバーカードを持っていますか？

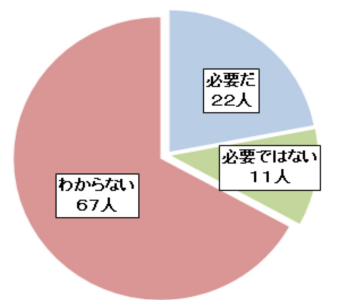


「持っている」と答えた人に「普段持っているか」を聞いたところ、「いつも持っている」が8人、「普段は家で保管している」が45人、「母親が保管している」が1人と約8割の人が家にあることが分かった。家で保管している理由は、「紛失すると心配」が19人、「必要とする時がない」が23人、「その他」が4人で、その内の2人が「親が管理」であった。「持っていない」と答えた人の理由は、「特に理由はない」が18人、

「わからない」が約1割

「マイナンバーカードは必要だと思うか」については、「必要だ」と答えた人が11人、「必要ではない」と答えた人が67人で、「わからない」が11人。「わからない」と答えた人の理由は、「必要だ」と答えた人の理由は、「必要な情報が他人に付与されていた

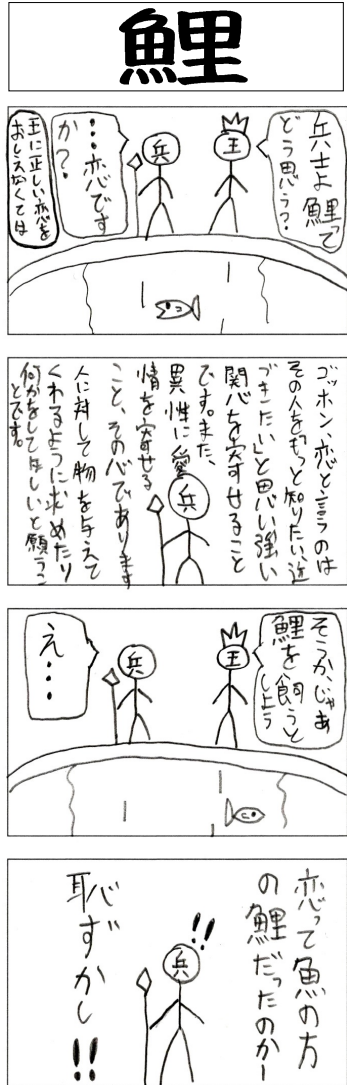
Q マイナンバーカードは必要だと思うか？



「皆さんの身分証を持たなくてすみ」市役所などの作業効率が上がる「便利なから」であった。「必要ない」と答えた人の理由は、「使う場面がない」「今のところメリットを感じていない」などであった。「わからない」と答えた人の理由は、「マイナンバーカードでできることがわからない」「興味がない」であった。マイナンバーカードで今後できると良いと思うことについて聞いてみる

問題となっているトラブル

- ・マイナンバーカードの顔写真が別人のものだった
- ・他人の年金情報を閲覧することができた
- ・公金受取口座が他人の口座になっていた
- ・コンビニで住民票を取得した他人の住民票だった
- ・マイナ保険証に他人の医療情報が登録されていた
- ・マイナポイントが他人に付与されていた



SDGsの取り組み紹介

SDGs (持続可能な開発目標)、地球が抱える問題を解決するために、あなたはどんな取り組みを行っていますか？今回は太鼓部員の取り組みを紹介します。(阿部)

- ☆節電。(Sちゃん)
- ☆ペットボトルと燃えるゴミの分別。(Nちゃん)
- ☆マイバックを持ち歩く。(Eくん)
- ☆スタバのプラのふたを断る。(Nちゃん)
- ☆食べ物を残さない。(Oくん)
- ☆食器の油汚れを拭き取ってから洗う。(Wくん)
- ☆洗い物の時、水道を止める。水を出したままにしない。(Fくん)
- ☆レジ袋を断る。(Tくん)

来年の秋には健康保険証が廃止され、マイナンバーカードと健康保険証が一本化される。トラブル続きのマイナンバーカード、トラブルの解消はもたらさないと、利便性の向上にも期待したい。

先輩から後輩へアドバイス

高校生活を全力で取り組んで欲しい



教育実習生 藤原 峻 先輩
(21歳・令和元年3月制御工学科卒)

今、学んでいる大学は？
「東京工学院専門大学(星城大学)です」
大学でどんなことを学んでいますか？
「東京工学院では、教育、スポーツ、身体のことを、星城大学では教育のことを学んでいます」
大学へ行くことにしたきっかけは？
「最初はミスノで働きたいと思いましたが、たが、教員になれることを知り、すぐに教員になりました」
高校時代の思い出は？
「サッカーの最後の試合で1回戦負けしたことが、自分にとっての思い出です」
「テスト勉強は、高校時代の思い出は、サッカーの最後の試合で1回戦負けしたことが、自分にとっての思い出です」

「サッカーの最後の試合で1回戦負けしたことが、自分にとっての思い出です」

「テスト勉強は、高校時代の思い出は、サッカーの最後の試合で1回戦負けしたことが、自分にとっての思い出です」

編集後記

○昨年までは4コマを担当。コラムは書いたことのないジャンルで最初は悩んだが、自分の書きたいことを書いておもしろい。描くのは大変だったが楽しかった。内容はみんな考えた。感謝！

編集担当

- 記事担当 山本花琳、阿部さくら、飯嶋香太郎、遠藤巧真、杉原朋弥(3年)、遠藤陸、小畑翼、清田ユキオ(2年)、望月秀一(1年)
- 四コマ漫画担当 小林健司(2年)
- パンフレット担当 長田空、遠藤巧真(3年)、協力・川野泰知(3年)